



ガザ人道危機緊急募金にご協力ください。

「ガザは子どもにとって世界で最も危険な場所」- 5,300人以上死亡の報告

2023年11月22日ニューヨーク発

国連安全保障理事会が開催したパレスチナ・ガザ地区に関する緊急会合において、1週間前にガザを訪問したユニセフ（国連児童基金）事務局長のキャサリン・ラッセルが、子どもたちが置かれている状況について報告を行いました。以下は発言の要旨です。

ガザは子どもにとって世界で最も危険な場所

- 10月7日以来、イスラエルの子ども35人が死亡し、30人以上がガザで人質になっていると報じられています。国連事務総長が述べたように、人質解放の合意は歓迎されるが、さらに多くのことを行う必要があります。ユニセフは、拉致されたすべての子どもを安全に解放するよう、引き続き当事者に求めています。
- ヨルダン川西岸地区では、この6週間で、パレスチナの子ども56人が亡くなり、多数の子どもが住処を追われています。また推定45万人の子どもが人道支援を必要としています。ユニセフとそのパートナーは、同地区の28万人の子どもに対し、メンタルヘルスサポートと保護、水と衛生サービス、補習授業などを提供しています。
- ガザ地区ではわずか46日間で5,300人以上のパレスチナの子どもが死亡したと報告されています。つまり、何週間にもわたって、日々115人以上の子どもが亡くなっているのです。この数字に基づけば、ガザでの死者の40%を子どもが占めていることになります。このようなことは前代未聞です。言い換えれば、今日のガザ地区は、子どもにとって世界で最も危険な場所なのです。比較として2005年から2022年までの17年間にわたり、子どもに対する重大な権利侵害のモニタリングと報告において確認された子どもの死亡数は、合計1,653人です。また1,200人以上の子どもが、爆撃で破壊された建物の瓦礫の下敷きになったままか、或いは行方不明になっているという報告も受けています。
- 今回の事態が起きる以前から、ガザでは54万人以上の子ども（ガザの子ども全体の半数）が、メンタルヘルスサポートと心理社会的支援が必要だと認められていました。今ガザでは170万人を超える人々が避難生活を強いられており、その半数は子どもです。今後数力月の間に、子どもの栄養不良の中でも最も致命的な消耗症が、ガザで30%近く増加することが予想されています。
- 学校への破壊的な攻撃もあり、すべての学校の建物の90%近くが被害を受けています。残っている学校施設の80%近くは、国内避難民の避難所として使われています。しかし、子どもや家族が家から逃れ安全を求めた先のこうしたスペースでさえ、攻撃を受けています。例えば先週末、避難民を保護していた国連パレスチナ難民救済事業機関（UNRWA）のファクラ校を含む2つの学校が攻撃され、少なくとも24人が死亡したと報じられています。ユニセフは、学校に対するすべての攻撃を非難します。
- パレスチナとイスラエルにおけるこのたびの武力紛争の真の代償は、子どもの命で測られるでしょう。戦闘を終結させ、人道的アクセスを全面的に確保しなければ、その犠牲は指数関数的に増大し続けます。



© UNICEF/UNI472239/Zaqout

足を負傷し、治療のためにエジプトへ向けて搬送される12歳のアフマドさん。（ガザ地区、2023年11月1日撮影）

●（公財）日本ユニセフ協会は、ユニセフ「ガザ人道危機 緊急募金」を受付しています。
最も支援を必要としている子どもたちとその家族に支援を届けるため、ご協力をお願い申し上げます。

●全国の郵便局（ゆうちょ銀行）窓口からお振込みできます。

振替口座：00190-5-31000

口座名義：公益財団法人 日本ユニセフ協会

*通信欄に「ガザ」と「K1-350」と明記ください。

*窓口でのお振込は、送金手数料が免除されます。

*寄付は所得税・相続税・法人税の税制上の優遇措置があります。



日本ユニセフ協会
ガザ人道支援緊急募金特設ページ

今年も秋から歳末にかけてたくさんの活動をおこないました。

中でも宇部市西岐波中学校から依頼のあった出前授業は、全校生徒450名を対象とした協会設立以来最大規模の学習会とあって、多くのボランティアスタッフで準備にあたり、「世界の子どものこと」「ユニセフ活動のこと」そして「子どもの権利」についてたくさんのお子様たちに知ってもらい、考えてもらうことができました。

●各地でユニセフパネル展を開催しました。

各パネル展ともに、世界の子子どもたちが置かれている状況とその子どもを支援するユニセフ活動の紹介パネル「ユニセフってなあに？」を基本に、スペースに合わせウクライナ関連パネルの展示もおこないました。

●平生町でのパネル展

平生町まち・むら地域交流センター 1Fロビー
9月5日(火)～9月19日(火)



●周南市でのパネル展

周南市役所渡り廊下
9月29日(金)～10月10日(火)



●平生町でのパネル展

岩国市立周東中学校
10月18日(水)～10月24日(火)



右3ページ紹介の「子どもの権利」学習会に合わせてのパネル展開催となりました。



●宇部市でのパネル展

宇部市立西岐波中学校
10月16日(月)～10月27日(金)



中学校の文化祭に合わせてパネル展示をおこないました。



●中学校で全校生徒を対象にユニセフ出前授業をおこないました。

宇部市西岐波中学校から学校で毎年実施している「人権を考える日」に合わせ、「子どもの人権」について講演してほしいとお話をいただきました。

対象は1年生から3年生までの全校生徒450名。規模が規模だけに一人でも多くの子どもたちに思いを伝えられるよう、スタッフ全員で知恵を出し合い事前準備に当たり、総出で学習会をおこないました。

●西岐波中学校での出前授業

宇部市立西岐波中学校体育館にて

11月13日(月) 11:00~12:00

- ・学習会は、世界の子どもの置かれている状況とその支援にあたるユニセフの活動を通じて、ユニセフが活動の指針としている「子どもの権利条約」について、子どもたちと学習しながら考えてもらうことにしました。
- ・進行はパワーポイントを基本に、生徒さんによる疑似体験や三択クイズなども折り込み、ワンウェイにならない工夫もおこないました。



↑ 生徒さんに加え、父兄の方・人権関係の方も参加され500人規模の学習会となりました。



↑ スタッフ総勢9名で学習会にあたりました。



↑ 生徒さんにも体験学習してもらいました。



↑ 生徒さん代表からプレゼン担当のスタッフに褒めのコメントもいただきました。



↑ ユニセフグッズの紹介をおこなうスタッフ。
生徒さんたちも興味津々といった感じでした。

●他団体イベントにも参加出展しました。

山口県ユニセフ協会では、他団体や企業主催のイベントにも積極的に参加し、一人でも多くの県民の皆さんに世界の子どものことやユニセフの活動を知っていただこうと考えています。

今回は生活協同組合コープやまぐち様の「中部センターまつり」に参加させていただきました。

●コープやまぐち中部センターまつり

生活協同組合コープやまぐち中部センターにて

11月11日(土)

「ウクライナ危機から一年」パネルを展示し募金を呼びかけました。

生協組合員さんのお子さんたちも元気に募金呼びかけを手伝ってくれました。



●新春恒例企画として好評だった「ユニセフカレンダー募金」。新型コロナの影響で3年間中断していましたが、春に下記の通り復活することになりました。お近くにお住まいの方、ご協力をよろしくお願い致します。

●新春恒例「カレンダー募金」開催予定

●「ユニセフカレンダー募金」って？

東京銀座にある老舗文房具店「伊東屋」さんのご厚意で、年末までに販売されなかったカレンダーを世界の子どもの支援に何か役立てられないかと日本ユニセフ協会に寄贈されたのが「ユニセフカレンダー募金」のはじまり。募金いただいた方へのお礼として、これらカレンダーの中から好きなものをプレゼントする企画です。年が明けてのカレンダーとは言え、一年は始まったばかりですし、素敵なカレンダーということで、多くの皆さんにご好評いただいています。



●いつ、どこで？

コースやまぐち様のご協力により、下記生協4店舗サービスカウンターにて2月中旬～3月中旬(店舗により若干の期間変更あり)で開催予定です。

- 山口地区「コースやまぐちこといづみ店」「コースやまぐちことどうもん店」
 - 宇部地区「コースやまぐちこと宇部店」
 - 下関地区「コースやまぐちこと新下関店」
- 各店100部用意

●募金いただく上でのお願い

募金はいくまで個人の善意に基づくものですが、伊東屋さんの「世界の子どもの支援に役立てて欲しい」との思いにお応えするため、**カレンダー1部につき200円以上の募金**をお願いします。

●ユニセフパネル展開催予定

●毎年開催してます山口県庁でのユニセフパネル展、今年も以下のスケジュールでおこないます。近くにお住まいの方や県庁にご用の方、お立ち寄りください。

- 開催場所: 山口県庁1階ロビー展示コーナー
- 開催期間: 2024年 1月24日(水)～2月1日(木)

展示予定: 「ユニセフってなに？」
「ウクライナ関連パネル」

●賛助会員募集してます！

日本ユニセフ協会と各協定地域組織の活動を賛助会費によって支援いただく方法です。現在山口県でも多くの賛助会員の方にご協力いただいています。山口から世界の子どもたちを支えましょう！

種類	対象	賛助会費
一般賛助会員	個人	一口 5,000円
学生賛助会員	学生(18歳以上)	一口 2,000円
団体賛助会員	団体、法人、企業	一口 100,000円

*賛助会員期間は入会日より1年間です。賛助会費は寄付金控除の対象になります。
*一般・学生賛助会員は個人名でのお申込みに限らせていただきます。

山口県ユニセフ協会

〒753-0083
山口市後河原210番地
TEL083-902-2266
FAX083-928-5416
E-mail: info@unicef-yamaguchi.jp
URL: https://www.unicef-yamaguchi.jp

県協会地図



ボランティア登録、資料請求、その他お問い合わせ等は、事務局までご連絡ください。また、どなたでもお気軽にお立ち寄りください。
受付日 : 月・火・水・木・金
受付時間 : 10:00～16:00
山口県教育会館の裏になります。